

# 平成 18 年度普及・指導者養成講座

本格的な余暇時代を迎えてマウンテンバイクを楽しみたいという人々が増えています。オリンピック種目として社会的にスポーツとして認められつつも、まだまだ、マウンテンバイクに対しての使い方の知識や、マナーの浸透は立ち後れているのが現状です。マウンテンバイクを安全で楽しいスポーツとして普及させるためには、優れた指導者の活動は不可欠で、日本マウンテンバイク協会では、設立当時から指導者養成に力をいれています。今回の「普及・指導者養成講座」では公認インストラクターや公認普及員の養成を行い、マウンテンバイクの普及活動をしていただける方々のために開催いたします。

現在、協会の公認インストラクター（公認普及・指導員）、公認普及員は全国に約200名が登録し、自ら企画した講習会や協会からの派遣講習会をはじめIMBAより認定されたNMBP（ナショナル・マウンテンバイク・パトロール）としてローカルトレールの保全に活動しています。また、協会では加盟の（財）日本レクリエーション協会のレクリエーション・インストラクター資格取得の際にも一部免除があるなどの特典や、公認資格の社会的位置づけの向上も図っています。

マウンテンバイクの正しい指導・普及に貢献できる方々の受講をお待ちしています。

公認インストラクター養成の場合は11月に行う「普及・指導者養成講座」と、翌年2月に行う「公認インストラクター検定」が連動しています。これは講習と検定を分け事前に十分なトレーニングと学習の時間を設けるためです。公認普及員の登録資格認定は養成講座のみで終了いたしますが、公認インストラクターの資格取得は以下のような流れとなります。

11月25-26日、12月2-3日 開催	2月10-11日 開催予定
<p>平成 18 年度 普及・指導者養成講座</p> <p>実技、指導方、知識の講習 「普及・指導者養成講座」の修了者は公認普及員の登録資格が与えられます。また、「公認インストラクター検定」での筆記検定は免除されます。 * この講座は公認インストラクター検定の受験資格のひとつとなります。</p>	<p>平成 18 年度第 18 期 公認インストラクター検定</p> <p>公認普及員もしくは平成 17 / 18 年度普及・指導者養成講座修了者が対象です。この合格者は期限内に登録して資格が発生いたします。 平成 17 / 18 年度普及・指導者養成講座修了者は筆記検定免除です。A 級検定には B 級取得 2 年以上で、事前に協会認定が必要です。</p>

## 普及・指導者養成講座 Q & A

### ◎講座はどのような内容なのですか？

大きく分けて実技と座学があります。実技では基本ライディング、そして実際の講習会のように模擬講習などをおこないます。座学では、マウンテンバイクの知識やマナーなどを学びます。

### ◎資格取得後の活動にはどのようなものがありますか？

初心者向けのライディング・スクールから、ツーリングや大会の企画やスタッフ、また、ここ数年前から国が推奨しています「総合型地域スポーツクラブ」などでの活躍が期待されています。

### ◎収入は得られますか？

一部のプロ競技者はインストラクターの資格とともに収入を得ていたり、スポーツ関係施設や会社で資格を生かす職業に就いていたりしますが、多くは他に仕事を持っておられます。実施される内容により必要経費や謝金などは支払われているケースが多いのですが、自分自身の余暇を他の人のために活動する現状が多いようです。

### ◎資格取得は難しいですか？ その基準は？

技術も知識も基本的な事柄ですので、そう難しくはありません。普及員は講座修了、インストラクターは検定試験合格が条件です。但し、特にインストラクターには実際の講習にあたって、自分ができるといことが前提となっていますので、ある程度の技術習得は必要です。しかしアクロバティックな技術は必要としておりません。

### ◎女性でも資格取得できますか？

女性の方にも普及員、インストラクター共おられます。ぜひ、チャレンジしてみたいはいかがでしょうか？

### ◎普及活動をするのに資格が必要ですか？

普及活動をされている方には協会公認の資格を持っていない方もおられます。しかし協会では、普及活動をやすくし、社会的認知度を向上するためにも、その普及・指導者が正しい指導、正しい知識を習得したと認証するものですから、ぜひ、取得し自信を持って活動して頂きたいと思います。また、資格者には協会主催や協会後援などのイベントにおける活動機会についての案内を行ったり、インストラクター登録にあたっては賠償責任保険に加入して、万が一の事故にも備えています。

### ◎この資格で特典のようなものはありますか？

（財）日本レクリエーション協会は文部科学省の所轄で、特に特定公益増進法人として生涯スポーツ推進にあっていますが、協会はこれに加盟しており、インストラクター資格者は（財）日本レクリエーション協会のインストラクター資格取得の際にも一部受講免除という特典があります。また、協会インストラクターは IMBA（国際協会）のパトローラーとしても登録されており、活動に当たって便利な特別頒布商品の購入機会もあります。国内でも同じように協会賛助各社より特別頒布もあります。

# 平成 18 年度普及・指導者養成講座参加要項

●日 時：  
平成 18 年 11 月 25-26 日(土,日)西日本 (滋賀)  
平成 18 年 12 月 2- 3 日(土,日)東日本 (静岡)

●会 場：  
西日本／東日本の両地区で実施いたします。  
いずれか片方の受講となります。  
◆西日本会場／グリム冒険の森(滋賀県)  
529-1623 滋賀県蒲生郡日野町熊野 431 番地  
TEL 0748-53-0809  
<http://www.ex.biwa.ne.jp/~grimm/>  
◆東日本会場／日本サイクルスポーツセンター  
コンチネンタル・サイクリング・センター・修善寺  
410-2402 静岡県伊豆市大野 1826  
TEL 0558-79-0004  
<http://www.csc.or.jp/>

●日 程：(会場などにより変更される場合があります)  
1日目(土)  
12:00 集合(食事は済ませて集合ください)  
12:30-15:30 実技講習  
17:00-18:30 講義・筆記  
19:00- 夕食  
2日目(日)  
10:00-13:00 実技講習 14:00 解散予定

●参加資格：  
マウンテンバイクの正しい指導・普及を志す 20 才以上の者(平成 19 年 3 月 31 日現在)および、現公認普及員、公認 B 級インストラクター登録者。  
参加定員各会場 30 名程度

●講習内容：  
知識など：普及・指導員とは、スクールの種類について、スクールの構成、リスク管理、作業点検ポイント、装備、フィールドマナー、パトロール、模擬指導、など  
実技：基本フォーム、ブレーキング指定位置への停止、変速、上り斜面、下り斜面、障害物、スタンディングスタイル、模擬指導など  
日本マウンテンバイク協会 公認マウンテンバイクインストラクター規定など準拠。  
(日本マウンテンバイク協会ウェブサイト「協会規約／規定」)<http://www.japan-mtb.org>

●講 師：  
日本マウンテンバイク協会公認 A 級インストラクター登録者で、普及・指導委員会より任命された者。

●受 講 料：  
協会会員 19,000円  
一 般 23,000円  
受講料にはテキスト、保険料のほか宿泊食事(1泊2食)が含まれています。他については各自ご用意頂きます。

●申請締め切り：  
11月6日(月)必着(東西講習会とも)

●受講申請方法：  
所定の申請書に必要事項を明記の上、受講料と共に送付してください。(申請書が必要な方はご連絡ください)  
次の 3 通りの方法で申し込みできます。  
①受講申請書と料金を添えて現金書留で送付。  
②郵便振替用紙で振り込みの上、申請書を郵送で送付。FAXは不可。振り込み時、備考欄に必ず西日本または東日本講座と明記してください。  
口座番号：00180-0-364481  
口座名称：日本マウンテンバイク協会事務局  
③クレジットカードご使用の方は申請書に記載の上必ず郵送してください。(取り扱いカード、有効期限、カード保有者名の記載などご注意ください)

\* 今講座修了者で、後に登録される方は期限内に協会会員および資格登録することが必要です。(会員：入会金 1,500 円、年会費 3,500 円、登録料：普及員年間 2,000 円。平成 18 年 10 月現在)  
\* 受講者にあるまじき行為の方は受講資格を失効いたします。  
\* 使用するマウンテンバイクではビンディングペダル不可です。  
\* 受講にあたっては、マウンテンバイク、ヘルメット、動きやすい服装、雨具、工具類など、自らが指導者としてスクール等で講習をすると想定し、必要な物は各自ご用意ください。  
\* 不明な点は事務局宛ご照会ください。  
日本マウンテンバイク協会 事務局  
〒160-0015 東京都新宿区大京町 21-41  
TEL 03-5363-3200 admin@japan-mtb.org

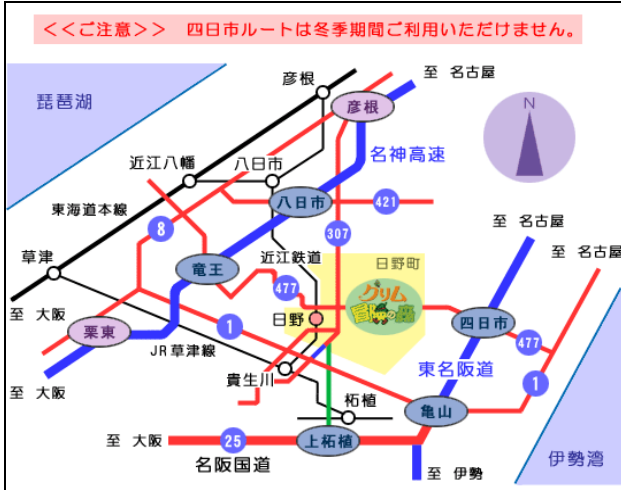
◆主催：日本マウンテンバイク協会  
◆後援：笹川スポーツ財団  
<http://www.ssf.or.jp/>

SSFスポーツエイドは「日本のスポーツを元気にしたい！」を合言葉に平成 3 年度にスタートして、本年度で 16 年目を迎えます。スポーツ愛好者の増大を図るために実施される事業に対してSSFスポーツエイドの助成により、スポーツ・フォー・エブリワンの実現に近づくことが期待されています。本事業は、このSSFスポーツエイドの助成を受けて開催しています。

SPORT FOR  
every  
one

SSF  
SASAKAWA SPORTS FOUNDATION

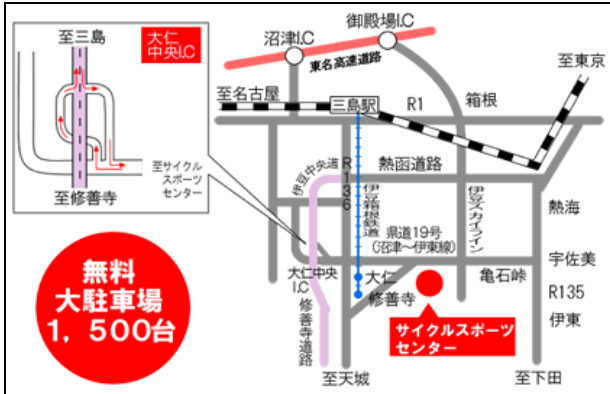
◆西日本会場／グリム冒険の森(滋賀県)



529-1623 滋賀県蒲生郡日野町熊野 431 番地  
TEL 0748-53-0809  
<http://www.ex.biwa.ne.jp/~grimm/>

お車をご利用の場合  
名神高速道路→竜王 I.C から車で約 40 分。または八日市 I.C から車で約 30 分。  
名阪国道→上柘植 I.C から車で約 50 分。または東名阪自動車道→四日市 I.C から車で約 60 分。  
国道 8 号線→近江八幡から車で約 40 分。  
国道 1 号線→水口から車で約 20 分  
バスをご利用の場合  
JR 近江八幡駅(南口)…約 55 分。  
バス停北畑口…約 20 分(町営バス:熊野行)

◆東日本会場／日本サイクリングスポーツセンター  
コンチネンタル・サイクリング・センター・修善寺



410-2402 静岡県伊豆市大野 1826  
TEL 0558-79-0004  
<http://www.csc.or.jp/>

お車で  
東名高速道路沼津 I.C から 45 分。国道 136 号線から伊豆中央道(有料)經由大仁中央 I.C より伊東方面に 8km。  
小田原から 60 分。箱根～伊豆スカイライン亀石峠 I.C から 大仁方面へ 3km  
熱海から 50 分。国道 135 号線 宇佐美から大仁方面へ 11km  
電車で  
東海道新幹線 - 駿豆線。三島から伊豆箱根鉄道。修善寺からバス利用  
バスで  
中伊豆東海バス。伊豆箱根鉄道 修善寺駅から中伊豆東海バスで 15 分(毎日運行)

a. b. c. cup

日 時: 10月大会 平成18年10月28-29日  
12月大会 平成18年12月16-17日  
会 場: 県立幕張海浜公園

第18期公認インストラクター検定

日 時: 平成19年2月10-11日(日)  
会 場: 関東地区設定中  
参加資格: 公認普及員登録者もしくは平成17/18年度普及・指導者養成講座修了者。A級検定にはB級取得2年以上の登録者で事前審査が必要。

スポーツボランティアリーダー養成研修会  
参加者募集中

スポーツボランティア・リーダーは、スポーツイベントに積極的に参画し、大会を支えるボランティアを統率し、主催者と一緒に大会を盛り上げます。  
現在、東京では、3万人の市民が走る「東京マラソン2007」(開催日2007年2月18日)の開催に向けて準備が進んでいます。笹川スポーツ財団は、組織委員会に参画し、大会のボランティア体制の構築を中心に取り組んでおります。このような大規模スポーツイベントでは、国内外の参加者や観客が気持ちよく大会に参加できるよう、スポーツボランティアが中心となった、ホスピタリティあふれる大会運営が欠かせません。  
笹川スポーツ財団とNSVAは、本事業を通じ、スポーツ・ボランティア活動のさらなる促進と、活性化を図ります。スポーツイベントを支える熱い意志と行動力をもった方の参加をお待ち申し上げます。

●開催要項

【対 象】  
18歳以上でスポーツ・ボランティア活動やスポーツイベントの運営に興味がある方

【目 的】  
スポーツボランティア・リーダーに必要な実践的な資質・知識の習得

【日 時】  
講義編 ①2006年10月13日(金) 18:00~20:45  
②2006年10月14日(土) 9:30~12:30  
③2006年11月3日(金・祝日) 9:30~12:30  
④2006年11月4日(土) 9:30~12:30  
※いずれか1つをご選択下さい。  
実習編 2006年11月5日(日) 8:15~16:30

【会 場】  
講義編 開催日 日本財団ビル(港区赤坂1-2-2)  
実習編 皇居周回遊歩道(千代田区)集合場所:桜田門時計台下

【参加費】  
2,000円/人(講義編:1000円 実習編:1000円)

【主 催】  
笹川スポーツ財団

【協 力】  
NPO法人日本スポーツボランティア・アソシエーション

【内 容】  
講義(予定)  
スポーツ・ボランティア活動の心構えや事例の紹介など、座学方式で学ぶことができます。

実技  
「第8回東京シティマラソン・RUN&WALK」(NSVA主催)での大会運営のボランティア活動が「実習編」となります。  
※集合場所など、詳しい内容は、講義編の開催時にご連絡いたします。  
※参加人数により、内容を変更することがあります。

【お問い合わせ先】  
笹川スポーツ財団  
TEL:03-3580-5854 FAX:03-3580-5968 Email:race@ssf.or.jp